



2013 年 05 月 07 日

報道関係者各位

市民放射能測定所
理事長 丸森 あや

福島県内図書館・駐車場土壌について

2013 年 4 月 29 日、市民より福島県立図書館の駐車場・吹き溜まりにあったドングリと周囲に溜まっていた土壌が持ち込まれ、当測定所のゲルマニウム半導体検出器にて核種分析を行った結果、高濃度の汚染が確認されました。また同日、福島市立図書館の駐車場・吹き溜まりにあった土壌をスタッフが採取し測定を行った結果、さらに高濃度の汚染が判明しました。

県立図書館ではセシウム 134・セシウム 137 合算でキログラムあたり 28 万ベクレルを超える高い濃度が確認され、比較のために採取した植え込みの土壌（合算値キログラムあたり 5 千 5 百ベクレル）の約 50 倍でした。市立図書館駐車場では合算でキログラムあたり 43 万ベクレルを超え、同駐車場の排水溝付近の土壌（合算値キログラムあたり 22 万ベクレル）の 2 倍近い高い濃度が確認されました。早急なる実態調査と情報の公開、適切な対処、相談窓口の開設を求めた報告書を 5 月 07 日に提出しました。（資料 1）

市立図書館については福島市政策推進部参事危機管理室除染推進課・荒井政章課長はじめ職員の方々にご対応いただき、速やかに現地の立ち入りを制限した上で調査と処分に当たっていただきました。県立図書館については、福島県生活環境部除染対策課・遠藤浩三課長に提出いたしました。

8 千ベクレルを超える放射性の汚泥などは特別措置法により国が処理する対象となるため、国の責任による適切な対処を求め、また事故初期から放射線の影響を受けている周辺住民および公共施設の職員の健康を守るため、実態調査と医療・健診の充実を求める要望書を 5 月 09 日に環境大臣に提出いたします。

資料 1：県立図書館・美術館 市立図書館・公民館の土壌調査 2013 年 5 月 07 日提出

資料 2：土壌調査データシート 2013 年 5 月 07 日提出

※資料は以下の URL からダウンロードしていただけます。
<http://www.crms-jpn.com/cat/report.html>

【お問い合わせ先】

市民放射能測定所： 理事長 丸森あや

NPO 法人 CRMS 市民放射能測定所 福島（測定担当：阿部浩美）

福島市置賜町 8-8 パセナカ Misse 1F TEL 024-573-5697

CRMS せたがや 市民放射能測定所（担当：中村奈保子）

東京都世田谷区北沢 2-14-1 OT ビル 3F TEL: 03-5787-8115

市立図書館および県立図書館への報告書提出とその後について

	市立図書館	県立図書館
提出先	福島市政策推進部参事危機管理室 除染推進課	福島県生活環境部除染対策課
ご対応 職員	・荒井政章課長 ・遠藤徳良副主幹 ・歌川豊彦主任	・遠藤浩三課長 ・酒井広行主幹
報告時間	2013 年 5 月 7 日 午前 11 時	2013 年 5 月 7 日 午後 1 時
提出部数	3 部	2 部
1. 対応	夕方までに立ち入り制限	夜の間に立ち入り制限
2. 対処	緊急対応をする（＊１）	社会教育課に伝える（＊１）
3. 窓口	市民相談窓口として、いつでも対応する。	まずは市に対応を求めるようにと伝えられる。（遠藤課長より）
（＊１） 現地調査	職員による現地調査あり 5 月 7 日 立ち入り禁止にする 5 月 8 日 現地線量調査	職員による現地調査なし （教育課および施設管理者が調査）
当該箇所 への立ち 入り	ブルーシートで覆われているので 立ち入りできない	当該箇所はそのままなので、立ち入り できる。
	報告書にある当該箇所を立ち入り 禁止とする	報告書にある当該箇所以外の場所を 立ち入り禁止のテープ（植え込みの）
除染作業	専門作業員による緊急除染作業	施設管理者（図書館スタッフ）による 除染作業。
		＊空間線量 $2.5 \mu\text{Sv/h}$ 以下である ＊一時的な作業である ＊しかるべき注意を指示（手袋、マスク・散水をして舞い上がりを防ぐ）

市立図書館（調査する市職員）



県立図書館

